

令和2年度実施施策に係る政策評価書

別紙2

(環境省R2-44)

施策名	目標9-4 環境情報の整備と提供・広報の充実					
施策の概要	環境保全施策を科学的、総合的に推進するため、環境問題に係る情報を体系的に整備し利用を図るとともに、様々なニーズに対応した情報を整備し、各主体への正確かつ適切な提供に努める。また、地球環境問題から身近な環境問題までの現状と取組について、各種媒体を通じた広報活動を行う。					
達成すべき目標	環境情報の体系的な整備、国民等への提供を行い、環境行政の各種施策を推進する基盤とする。					
施策の予算額・執行額等	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	2,058	2,170	2,322	918
		補正予算(b)	-	-	500	-
		繰越し等(c)	-	-	(※記入は任意)	
		合計(a+b+c)	2,058	2,170	(※記入は任意)	
執行額(百万円)	1,879	2,070	(※記入は任意)			
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	-					

測定指標	1 環境省ホームページへのアクセス数	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R4年度	○
		-	-	-	138,902,982	214,319,082	453,665,461	175,787,779	
	年度ごとの目標値	-	-	169,091,101	170,765,271	172,439,440			
	2 研修実施回数	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	×
-		52	54	55	54	0	未定		
年度ごとの目標値	50	54	54	53	51				

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) 相当程度進展あり (判断根拠) ・環境省ホームページへのアクセス数は目標値を大幅に達成した。 ・R2、3年度については、新型コロナ感染予防・拡大防止の観点から、当面の集合研修を中止しているため、目標値の達成を図ることができない状態である。一方、再開時の感染防止対策を検討・検証しつつ、遠隔参加型分析実習やwebを活用した研修を代替措置として実施した。
	施策の分析	
	次期目標等への反映の方向性	

学識経験を有する者の知見の活用	-
-----------------	---

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	-
---------------------------	---

担当部局名	大臣官房環境計画課 大臣官房総務課 環境情報室 大臣官房総合政策課企画評価・政策プロモーション室 大臣官房総務課広報室	作成責任者名	松田尚之(環境計画課長) 明石健吾(環境情報室長) 岡崎雄太(企画評価・政策プロモーション室長) 沼田正樹(広報室長)	政策評価実施時期	令和3年8月
-------	---	--------	--	----------	--------